参考様式第5－1号

燕　農　第　1848　号
令　和　8　年　11　月　12　日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

燕市長　佐野　大輔

市町村名 （市町村コード）	燕市 （15213）
地域名 （地域内農業集落名）	吉田1 （雀森、庚塚、米納津、大保、富永）
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年11月10日 （第6回）

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1　地域における農業の将来の在り方

（1）　地域農業の現状及び課題

【雀森・庚塚・米納津・大保】
　農業従事者の高齢化に伴い、規模縮小・離農希望者も多い状況にある。また、担い手は存在するが既にある程度の規模での経営を行っており、ここから更に集積は進めることは難しい。その一方で圃場整備事業を実施した部分もあることから、既にある程度の集約がなされた状況で農業が営まれている。
　受け手不足による遊休農地の増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるため新たな担い手を確保・育成する必要がある。

【富永】
　規模拡大希望者が多数存在しており、規模縮小・離農希望者の耕地は担い手への集積が見込める状況である。
　圃場整備事業実施地区であり、今後大区画化での農業が営まれる。

主要作物:水稲

（2）　地域における農業の将来の在り方

【雀森・庚塚・米納津・大保】
　現在の耕作者を中心とした営農を継続しつつ、今後担い手不足が見込まれることから地域内外から農地を利用する者の確保に取り組む。
　水路・農道の維持作業などについて土地持ち非農家・集落外参入者も参画できるよう、地域コミュニティーの活性化を図る。

【富永】
　農作業の効率化を図るため担い手への農地集積・集約化を進める。
　圃場整備事業による大区画化に併せてスマート農業の導入などによる更なる効率化を図る。

2　農業上の利用が行われる農用地等の区域

（1）　地域の概要

区域内の農用地等面積	448.83 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	448.83 ha
（うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積）【任意記載事項】	ha

（2）農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

　農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

（1）農用地の集積、集約化の方針
規模拡大を希望する担い手を中心とし農地の交換による更なる効率化を目指す。 離農・規模縮小者の農地については地域での話し合いを経て、効率的に担い手が耕作できるよう調整を行う。
（2）農地中間管理機構の活用方針
担い手及び現耕作者の経営意向を踏まえ段階的に集積・集約化を進める。 また、地域内での話合いを元に規模縮小者の意向把握に努め計画的な集積に取り組む。
（3）基盤整備事業への取組方針
米納津地区：実施済み 富永地区：実施中
（4）多様な経営体の確保・育成の取組方針
認定農業者を目指す意欲ある担い手の育成、確保に努めるとともに、新規就農者に対して農業経営が定着するまでの協力など支援を行う。
（5）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
今後検討する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

☑	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携	☐	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①⑦一部害虫が発生した畑地がある他、集落外参入者による農地管理に課題があるため、農家間・地域間でのコミュニティ強化を行う。